

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/12/05号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 中国の需要不安緩和で急反発

NY原油先物相場は、1バレル=73.60ドルまで急落した後、一時83.34ドルまで急反発し、週末にかけて80ドルの節目水準まで上げ幅を削る荒れた展開になった。中国で新型コロナウイルスの感染被害が広がり、行動規制の強化、それに抗議するデモや暴動など混乱が加速する中、週前半は需要リスクを織り込む形で急落地合を形成した。しかし、その後は中国政府が新型コロナウイルス対策の緩和を強く示唆したこと、更に新規感染者数がピークアウトの兆候を見せたことで、安値から一気に10ドル近く切り返す荒れた展開になった。米原油在庫の大幅な取り崩し、ドル安もポジティブ材料視された。

中国で新型コロナウイルス対策を担当する孫春蘭副首相は12月1日、「防疫体制を更に適正化する条件が整った」として、ゼロコロナ政策の緩和を進める姿勢を示した。オミクロン株の病原性の弱さ、ワクチン接種の普及、新型コロナウイルスの知見が集まっていることなどが理由とされている。これによって、中国の経済環境・見通しが改善していることが、原油相場を急落地合から急伸地合に一変させた。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (11月25日時点) は、原油が前週比1,258万バレル減、ガソリンが277万バレル増、石油精製品が355万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

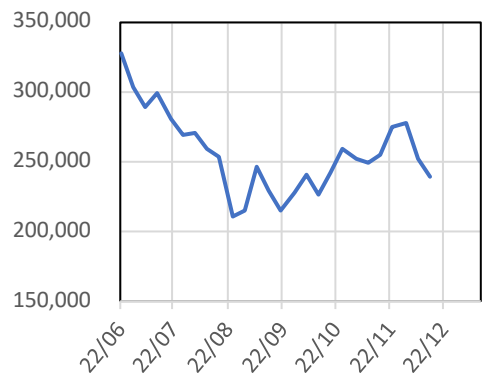
## 需要リスクの消化一巡で、供給不安による安値修正にシフトか

中国需要リスクが大幅に緩和されたことで、原油相場の急落リスクが後退している。まだ感染被害が終息に向かうのかは不透明だが、仮に感染拡大でも強力なロックダウン（都市封鎖）など従来型の行動規制は行われないと安心感が広がっている。世界経済の減速傾向にも注意が必要だが、需要不安の織り込みに一巡感が広がっていることが、原油相場の地合改善に直結している。80ドル台での値固めから、80ドル台後半までの安値修正を見据えた展開になろう。

需要不安の消化が進めば、供給不安に価格形成の主導権はシフトする。主要7カ国（G7）などはロシア産石油価格に上限を設ける制裁を12月5日に発動するが、上限価格を1バレル=60ドルとすることで合意した。これによってロシアの原油売却収入の拡大にブレーキを掛けることを目指すことになる。ロシア産ウラル原油との価格差が小さいことで、制裁効果は大きくないと見方もあるが、ロシアは上限価格の設定国に対する原油売却停止の可能性も示唆しており、一定の混乱が生じる可能性がある。また、同じ5日には欧州連合（EU）の海上輸送のロシア産原油に対する禁輸措置も発動する。欧州を中心に供給環境が一段と不安定化し易い。

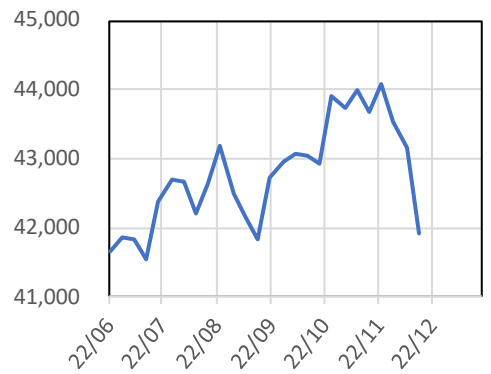
12月4日には石油輸出国機構（OPEC）プラス会合が開催されたが、生産枠は据え置かれた。11月の日量200万バレルの減産体制を維持することになる。事前に追加減産の可能性も指摘されていたという意味ではネガティブだが、OPECプラスとしては西側諸国の制裁の影響を見極める必要があると判断した模様だ。声明では、需給均衡と市場安定のためには追加措置も辞さないとして、追加減産カードの存在も誇示している。OPECプラスによる需給管理に対する信頼感が大きく損なわれることはないだろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



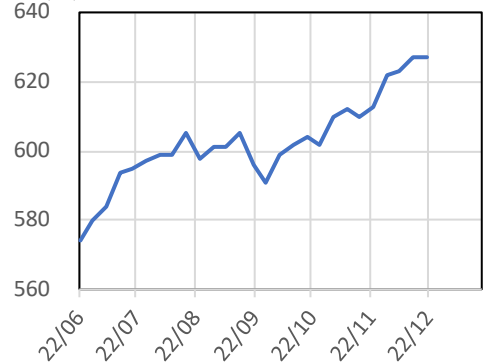
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

